

未来さいたま(さいたま市革新懇) Q & A

◎革新懇とは、どんな団体ですか？

思想信条を超え、共同目標に基づいて、国民が主人公の日本をつくることをめざしている草の根の運動団体です。

さいたま市革新懇は、共同目標に賛同する、さいたま市を活動拠点とする各種団体、労働組合、地域革新懇、および、さいたま市革新懇を直接支える意志のある個人によって構成されています。

いまの日本は、国民が後ろに追いやられて、大企業やお金持ち優遇、国民のくらし・福祉切り捨て、普天間基地・TPP 問題に見られるようにアメリカいいなりの政治が続いています。これを国民本位になるように、みんなで力を合わせて政治や経済のしくみを変えようというのが革新懇の運動です。



◎共同目標が5つになり、表現も変わっていますが？

さいたま市革新懇の共同目標は次の5つです。これは、3.11 大震災と福島第1原発事故による国民の意識の変化と全国革新懇の3つの共同目標の精神をふまえて、できるだけ、分かりやすく、日常的な表現にしようという考えで、発起人会や準備会で何度も検討し、結成総会で決定しました。

1. 国の財政と日本経済のあり方を国民本位に転換し、誰もがいきいきと働き、格差と貧困、差別のない安心してくらしをゆける日本をめざします。
2. 憲法改悪を許さず、憲法と国民の声が政治に生かされる民主主義豊かな日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、外国の基地と核兵器のない平和な日本をめざします。
4. 原発をなくし、自然・再生可能エネルギーを生かす、環境に優しい省エネルギー社会の実現をめざします。
5. 憲法をくらしに生かし、市民が主人公のさいたま市政の実現をめざします。

◎共同目標の一つに賛成すれば加入できる新しい試み

これまでの革新懇は、共同目標の三つ全部に賛成することが加入の条件でしたが、さいたま市革新懇では、一つでも賛成すれば加入することにしました。もちろん、共同目標の一つに絶対反対という人は加入できませんが、例えば、安保のことはよく分からないので、この項目は保留するという人も加入することになります。革新懇は、思想信条を超えて、多くの団体・個人が手をつなぐところですから、間口はできるだけ大きく広げようという考えです。個人の方は、できるだけ、各区の革新懇に加入しましょう。

◎会費はどのようになりますか？

会費は団体・個人とも1口 1000 円(年額)です。口数は、団体の規模や個人の意志によって決めます。

地域の革新懇に入っている方は、地域の革新懇が団体加入しているのので、別途に会費を納める必要はありません。

◎地域革新懇が団体加入するというのはおかしいという意見がありますが？

さいたま市内に現在9の地域革新懇がありますが、活動の基盤となる区には、予算編成権も議会もありません。要求実現や市政革新の課題では、どうしても、さいたま市全体の力を結集する運動が必要です。地域革新懇も、さいたま市革新懇もどちらも必要なのです。地域革新懇が土台を支えてこそ、さいたま市革新懇は成立します。

とりくみの競争を心配する意見もありましたが、実際には、相乗効果が発揮され、地域革新懇や準備会の活動が活発化しています。

草の根運動だからこそ、組織のあり方を機械的に考えずに、運動の発展に応じて、柔軟に対応することが大切ではないでしょうか。



◎会の正式名称は何ですか？

「平和・民主・革新の未来を開くさいたまの会」が正式名称です。略称は「未来さいたま」、通称が「さいたま市革新懇」となっています。

◎URL <http://mirai-saitama.org/>

◎「革新懇」という名称に愛着があるという意見もありますが

県の組織である埼玉革新懇は、正式名称は「平和・民主・革新の日本をめざす埼玉の会」といっていますが、1980年の発足当初は「平和・民主主義・革新統一をすすめる埼玉懇話会」と名っていました。しかし、「懇話会」という名称では、懇談する会だという誤解を生み、運動発展の障害になってきたので、2001年に名称を変更し、草の根運動の団体としての性格をはっきりさせて、再出発しています。

「懇話会」時代の略称が歴史的に定着しているので、今も、通称として「埼玉革新懇」が使われています。

本会も、「さいたま市革新懇」を通称として使用しています。



